



▶ 住宅の防火・防災対策は万全ですか？

本格的に寒い季節を迎え、暖房器具を使用する時期となりました。冬期間は暖房器具が原因となる火災が多く発生する傾向にあります。特に、就寝中にストーブに可燃物が接触し火災にいたる例が数多く報告されています。

また、万が一、火災が発生した場合、住宅用火災警報器を設置していることで早期に火災に気づき、大事にいたらなかった例も数多くありますので、設置していない方は、設置しましょう。



▶ 火事と救急要請は 119番通報を！

平成 28 年 3 月 8 日より 119 番通報が伊達消防署通信指令室に集約されました。

管内（伊達市、洞爺湖町、豊浦町、壮瞥町）全ての 119 番通報を受付し、迅速に最寄りの消防署からその災害に見合った車両を出動させています。

通信指令室にある指令台では管内全ての地図データを整備し更新作業を随時行っていますので、火事や救急要請の際は、豊浦支署ではなく 119 番通報をするようご協力よろしくお願いたします。

火事・救急・救助は、
局番なしの **119** 番



豊浦消防団		11月1日現在
消防団本部	8名	
第1分団(本町地区)	36名	
第2分団(大岸地区)	18名	(定員85名)
第3分団(礼文華地区)	21名	計83名!

10月	豊浦町火災・救急発生件数
	●火災件数 1件(累計 4件)
	●救急件数 20件(累計212件)

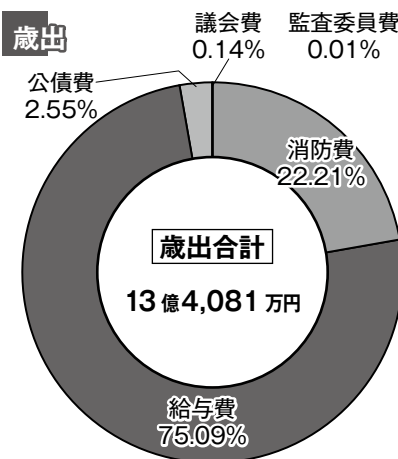
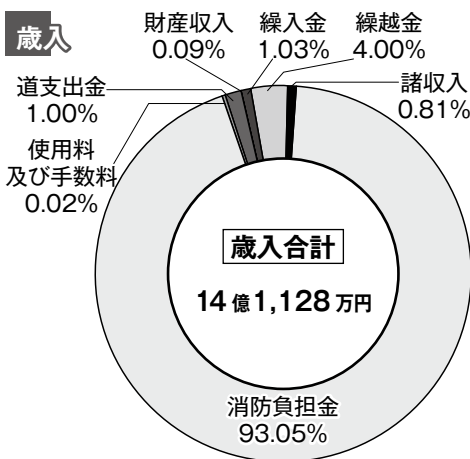
西胆振行政事務組合消防本部 平成28年度決算概要

平成 28 年度西胆振行政事務組合消防本部決算概要をお知らせします。

歳入では、歳入グラフのとおり自主財源の消防負担金が最も大きく、構成 4 市町の規模(人口割、財政割)および均等割により負担率が決められています。

歳出では、歳出グラフのとおり給与費と消防費(主に消防本部、消防署(支署)の活動経費)が最も大きく、平成 28 年度は豊浦消防ポンプ自動車、壮瞥事務連絡車、伊達ミニホイローダーの整備に充てられました。

単位：千円



【歳入】		1,411,280
1. 消防負担金		1,313,161
(内訳)		
伊達市		623,971
洞爺湖町		299,972
豊浦町		221,715
壮瞥町		167,503
2. 使用料及び手数料		293
3. 道支出金		14,107
4. 財産収入		1,315
5. 繰入金		14,523
6. 繰越金		56,493
7. 諸収入		11,388

【歳出】		1,340,810
1. 議会費		1,934
2. 監査委員費		108
3. 消防費		297,829
4. 給与費		1,006,797
5. 公債費		34,142